

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	算数
----	----

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	算数 101 102 201 202 301 302 401 402 501 502 601	あたらしい さんすう 1① さんすうのとびら あたらしい さんすう 1② さんすう だいすき! 新しい算数 2上 2下 考えるって おもしろい! 新しい算数 3上 3下 考えるっておもしろい! 新しい算数 4上 4下 考えると見方が広がる! 新しい算数 5上 5下 考えると見方が広がる! 新しい算数 6 数学へジャンプ!	<ul style="list-style-type: none"> すべての観点がバランス良く充実している。 導入では、自分で考える場面があり、主体的・対話的な学びの実現につながるよう工夫している。 図形の問題では、色分けをしたり、話し合い方を明示したりして、児童の思考を促す工夫をしている。 まとめの部分に虫眼鏡マークで数学的な見方・考え方のヒントを提示して、思考力を高めやすい紙面構成にしている。 QRコードから読み取り利用する動画の説明がわかりやすく、見直しや練習が家庭でもできる。 文字が太く、濃く、見やすく、児童への配慮がある。 すべての文章において、文節改行（文節の切れ目で改行）されており、読み取りやすい。 問題解決の方法を振り返る呼びかけページがあり、「今日の深い学び」で学習の流れを明示している。 1年の①の教科書は「さんすうのとびら」という入門期を意識した教科書とノートがセットになったA4判で紙質もよく書き込みやすい。 問題と考え方のページを分けてあり、教科書を活用しやすい。 ページ割が統一されず、練習問題がページの左上に掲載されている。

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
大日本	4	算数 103 203 303 403 503 603	たのしいさんすう1ねん たのしい算数2年 3年 4年 5年 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・系統立てされており、他教科とのリンクも紹介され、他教科や生活全般に広げられている。 ・「算数まなびナビ」で学習の進め方や話し合い方を明示し、意欲的に学習に取り組めるよう工夫している。 ・「ふくろう先生になるほど算数教室」の項を設け、進んで生活や学習に生かすよう工夫している。 ・「プラス・ワン」として、定着問題を配置し、基礎的・基本的な内容の理解と定着が確実に図られるようにしている。 ・目次に「前の学習」と「後の学習」があり、単元のはじめに既習事項を振り返る練習問題、単元末にチャレンジ問題や「算数たまてばこ」、そして中学校への接続として「数学の世界へ」を設定している。 ・全体に文字が小さい。例えば6年の反比例グラフの方眼が明瞭ではない。 ・「めあて」、「発見」へとつながる学習の流れが明示され、毎時間の授業の流れがわかりやすい構成になっている。 ・キャラクターの吹き出しで、学習のヒントが充実しており、主体的・対話的で深い学びが期待できる。 ・QRコードから読み取り、練習問題が家庭でもできる。 ・全学年1冊にまとめられ、いつでも既習内容を振り返ることができる。 ・問題と答えのページがわかれている見やすいが、ページ割は統一されていない。

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
学 図	1 1	算数 104 105 204 205 304 305 404 405 504 505 604 605	みんなとまなぶ しょうがっこう さんす う 1ねん上 1ねん下 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上 2年下 3年上 3年下 4年上 4年下 5年上 5年下 6年 6年 中学校へのかけ 橋	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターにモンスターを使い、興味を引き、意欲につながるよう考えられている。 ・「やってみたいな」「調べてみたいな」「確かめたいな」の項があり、論理的な思考力をつける流れにしている。 ・内容の量が多く、消化不良になる可能性がある。 ・文字の大きさが小さく、見にくい。 ・紙の厚みが薄いので、ややめくりにくい。 ・「3つの学び方で学習を進めよう」で学習の進め方が明示され、見通しを持ちやすい。 ・文字が細めで、数字が太めになっており、数字が目立つ字体で、行間に余裕があり、すっきりとしている。 ・「深めよう」や「つなげよう」で、学んだことを振り返りながら生活につなげられるよう工夫している。 ・補充問題数が多く、家庭学習として使える問題も多く掲載している。 ・単元や毎時間の切れ目は、わかりづらい。 ・高学年の表紙裏の情報量が多く、児童が戸惑う可能性がある。 ・3年の割り算の学習で、あまりなし、あまりありが続いて配列されているため、児童が混乱してしまう可能性がある。 ・変形判の教科書は使いづらい。

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教出	17	算数 106 206 207 306 307 406 407 506 606	しょうがくさんすう1 小学算数2上・2下 3上・3下 4上・4下 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のはじめに学習の進め方を確認しながら解いていく問題を掲載し、児童が楽しく学習を進めることができるようになっており、論理的な思考力の育成につながるよう工夫している。 ・ 使いやすいように、原則見開きで問題を提示している。 ・ 単元末「学んだことを使おう」では、単元で学習したことを日常場面に活用させ、「何ができるようになったのか」を実感できるようにしている。 ・ 導入では、自分で考える場面を設定し、主体的・対話的な学びにつながるよう構成されている。 ・ 学んだことの良さや考え方を振り返る4コマ漫画を単元終末に設け、単元や領域を貫く数学的な見方・考え方を意識づけ、学びをつなげている。 ・ 解決のための構想を立てやすいよう「考えるヒント」として、キャラクターの一言で示している。 ・ 文字の大きさ、太さが適当である。 ・ 図形の色、余白の広さも適している。 ・ ノートの作り方を紹介するページでは、児童のつぶやきや浮かんだ疑問例を具体的に示している。 ・ 「めあて」と「まとめ」が明確ではない。 ・ グラフのマス目が細かすぎる。 ・ 6年でのデジタルコンテンツ活用のページ数が少ない。

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
啓林館	6 1	算数 108 208 209 308 309 408 409 508 608	わくわく さんすう1 わくわく 算数2上・2下 算数3上・3下 算数4上・4下 算数5 算数6	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての観点がバランス良く充実している。 ・「めばえ」から「めあて」、「まとめ」へとつながる学習の流れが明示されており、毎時の学習の流れがわかりやすく意欲的に取り組むことができるよう工夫されている。 ・数学的活動を通して、日常の事象や既習事項とのつながりから学習を進められるようにしている。 ・キャラクターのセリフから、既習事項を想起したり、新しい概念を筋道立てて考えたりしやすくしている。 ・デジタルコンテンツが充実しており、立体や面積などを扱う単元では、視覚映像を見せることで児童の学習理解の手助けとなり、家庭でも主体的に学習をするきっかけになる。 ・「考えましょう」「説明しましょう」の問題が設定されており、主体的、対話的な学びの実現につながるよう工夫している。 ・導入ページで使用されている写真が、次時の学習にも繋がるよう、単元を通した構造になっている。 ・問いや練習問題にわかりやすい挿絵が掲載されている。 ・学年相応の文字の大きさ、色、線の太さ、字間になっており、読みやすい。 ・「めあて」と「まとめ」が明確で、授業や家庭学習でも取り組みやすくしている。 ・1年で0のたし算、ひき算が別単元で扱われており、指導時期が遅くなる。

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
日 文	1 1 6	算数 110 111 210 211 310 311 410 411 510 511 610	しょうがく さんすう 1ねん上・1ねん下 小学算数 2年上・2年下 3年上・3年下 4年上・4年下 5年上・5年下 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、1時間の学習展開がわかりやすいよう「じぶんで」「みんなで」を設定している。 ・「さんすうのがくしゅうのすすめかた」「さんすうノートをつくろう」で、どのように学ば良いかを示している。 ・主体的・対話的に学習を進めやすいよう、「考えましょう」や「説明しましょう」の問題が多く配列されている。 ・学習を進めやすいように、考える際のヒントや例文が提示されている。 ・巻末の「マイトライ」では、難易度が3つに分けてあり、個に応じた学習が進められるようにしている。 ・6年の「マテマランド」は既習事項をもとに、ゲーム感覚で解ける難題が用意されている。 ・文字の大きさは大きめで読みやすいが、字間が詰まっている。 ・大切な言葉が目立つように、文と数字、算数用語で書体を変えているが、統一感がない。 ・5・6年は、数直線を使って問題を解く方法を統一しているので、系統立てた指導がしやすい。 ・時計や図形のデジタルコンテンツで、わかりやすい提示をしている。2・4・5年では、デジタルコンテンツの扱いが少ない。 ・書き込みスペースが大きくとられているが、1時間の学習が複数ページに渡っていることがありわかりづらい。 ・軽量化を図るため、1年から分冊にしている。

